

第2回 臨床哲学フォーラム (規範の外の生と知恵)

BDSM をめぐる生の営み

——ケアとは何か？——

主催：大阪大学倫理学・臨床哲学研究室

日時：2020年11月14日(土) 13:00-17:00

場所：大阪大学豊中キャンパス & Zoom / 参加費無料

(大阪大学豊中キャンパスの定員は15名)

◆BDSMは、Bondage & Discipline：拘束・調教、Domination & Submission：支配・服従、Sadism & Masochism：加虐・被虐の複合語である。拘束・支配・加虐は「暴力」であり、行使すべきではないものとして、調教・服従・被虐は権利を侵害するものであり、退けなければならないものとして、**一律に見なされてきた傾向**にある。また、BDSMの文脈で語られることは、自らとは別の世界で展開されていることだと切り離して考えているような姿勢も見受けられる。このイベントは、ここで前提とされているものを、多様なあり方を見せるBDSMという営みや、さまざまなSM実践者の語りや知恵から学び、問い直すことを目的とする。

◆イベント参加は事前予約制です。大阪大学の**会場での参加は先着順**ですので、参加希望の方はお早めにご連絡ください(会場参加者は、マスクをご着用ください)。また、新型コロナウイルスの影響の関係で、大学の判断によっては、会場開催が不可になったり、イベントが延期されたりする可能性があります。あらかじめご了承ください。

◆参加希望の方は、①お名前、②ご連絡先(メール)、③所属/立場などを明記したうえで、大阪大学倫理学・臨床哲学研究室(rinsho@let.osaka-u.ac.jp)と(mariko.konishi@let.osaka-u.ac.jp)にご一報ください。**開催場所の詳細やZoom情報は、別途連絡**します。

◆**当事者、学生、専門家、研究者など参加者の立場は問いません。**

※このイベントでは、**強烈な性表現があります**。各自のご判断でご参加ください。講演で直接表現が難しいと判断したものに関しては、任意で別紙参照をお願いする可能性もあります。

13:00-13:10 (開場：12:45)

企画趣旨説明・発表・講演者紹介

〈発表：発表20分、質疑10分〉

13:10-13:40

「女性サディストの技術とフェミニストなマゾヒスト」(小西真理子：大阪大学)

13:40-14:10

「女装フォビア、性的指向、ジェンダー・アイデンティティ」(ほんまなほ：大阪大学)

14:10-14:40

「日本の商業BDSMと「真のSM」の追求」(河原梓水：福岡女子大学)

14:40~15:00 休憩

〈講演会〉

15:00-16:00

観菜月らみい女王様のご講演

「私とSM」

16:00-16:30

講演者&発表者のクロストーク

16:30-17:00

会場からの質問